

卸商業団地機能向上支援事業通信

< 9号の内容 >

- 令和3年度の採択結果
- Q & A
- 本事業の事業評価報告書より（ヒアリング調査結果）
- 過去の事例発表会がYouTubeで視聴できます



令和3年度の採択結果

令和3年3月29日（月）から4月16日（金）まで公募受付を行い、選考委員会による厳正な審査の結果、9組合が採択されました。9組合の名称及び事業テーマは以下のとおりです（商団連ホームページに掲載中です）。

No	組 合 名	テ ー マ
1	（協）山形流通団地	魅力にあふれる団地づくり ～組合不動産の現状把握と活用方法・新しい団地像の研究～
2	高崎卸商社街（協）	会議室・展示場等共同施設の予約・管理運営効率化のためのシステム開発
3	（協）横浜総合卸センター	10年後を見据えた卸団地再整備を中心とした組合ビジョン策定
4	（協）山梨県流通センター	「組合の更なる発展に向けて」土地・建物の有効活用
5	多治見美濃焼卸センター （協）	多治見美濃焼卸商業団地の新たな団地機能を目指した整備事業
6	泉州卸商業団地（協）	機能強化を目的とし作成した再整備計画案の推進による組合が抱える諸問題の解決と組合の再生
7	（協）新大阪セイシティー	繊維卸業界の現状・課題整理と今後の方向性についての調査研究
8	大阪メルカート（協）	大阪メルカートの建て替え事業
9	（協）福岡卸センター	福岡流通センターの機能活性化に向けた街づくり構想策定

採択後、「助成金交付申請等説明会」を開催しました。

採択後の6月18日（金）には、助成金交付申請～助成事業を実施するに当たっての必要な手続き等について説明を行う「助成金交付申請等説明会」を開催しました。

昨年度は、コロナウイルス感染症拡大のためやむを得ず中止としましたが、今年度はリモートにより開催しました。



Q & A

過去のQ & Aは、商団連ホームページからご覧いただけます。

Q20 令和3年度では9組合が採択されましたが、令和4年度において公募する予定はありますか？

A20 令和4年度も公募する予定です。

まだ、最終的な交付決定額として金額は確定しておりませんが、令和3年度の応募状況からすると助成金交付の財源（基金残高）に余裕がありますので、令和4年度においても令和3年度と同程度の公募が可能と見込んでおります。

特集 「卸商業団地機能向上支援事業 事業評価報告書」(平成30年3月)

引き続き、事業評価報告書(全国中小企業団体中央会作成)からヒアリング調査の結果をご紹介します。



ヒアリング調査結果(その6)

13) 大阪機械卸業団地協同組合

当組合は、平成22年度及び24年度の2回本事業を実施している。

22年度のテーマは団地内建物の建て替えのための調査研究と事業化調査及び基本計画の策定。

組合員アンケート等を実施したが、組合員の建物の建て替えには時間がかかるため、当面は組合のシンボルである組合会館の建て替えを優先して進めていくことにした。

また、団地再整備の必要性についての問題意識は高く、ビジョン策定を望む意見、さらに防災能力を重視した老朽対策と交通アクセスの利便性の向上を望む意見も多かった。

24年度は、団地内建物の耐震性の調査と安心・安全な環境づくりを主たるテーマとしてアンケート調査等を実施した。

耐震調査では一部の建物以外は耐震補強か建て替えが急務であることが判明したが、連棟式建物が半分以上占めるので、組合員の合意を得ることが困難であるという課題に直面した。

アンケート結果をいかして、防犯灯(街路灯)の増設、防犯カメラの新設など、団地内従業員や住民の安心・安全の環境づくりのために、組合員の協力を得て設置できたことは本事業の成果によるものである。

【過去の取組内容】()は実施年度

- ① 団地内建物の建て替えのための調査研究と事業化調査及び基本計画の策定(H22)
- ② 団地内建物の耐震調査等、安心・安全な環境づくり(H25)

14) 協同組合広島総合卸センター

当組合では、平成26年度及び28年度の2回、本事業を実施している。

26年度は「卸団地組合活性化事業計画の策定と組合BCPの作成」、28年度は「景観事業計画の策定」である。この2回の事業実施によって、「組合員施設の更新に関する行政への改正要求」、「より良い街づくりのための行政との連携強化」、「流市法の規制緩和協議により、柔軟な土地活用を可能としたビジネスチャンス拡大化を図る契機」などの方針が立てられたことは成果である。

組合活性化の展開により具体的成果を得ることが可能になった6つのポイントは以下のとおりである。

- ① 組合員施設更新の環境整備が図られた
- ② 人づくりの施策展開を推進できた

③ 防災、防犯対策の展開に着手できた

④ 景観計画を策定できた

⑤ 流市法の規制緩和協議に着手できた

⑥ 地域の核となる新たな施設の整備計画に着手できた

今後も広島市地域経済の拠点としての役割を期待されている中で、継続的な補助を受けることが可能ならば、一層の実現を図るために助成事業を利用したい。

【過去の取組内容】()は実施年度

- ① 卸団地組合活性化事業計画の策定、組合BCPの作成(H26)
- ② 景観事業計画の策定(H28)

(次号に続く)

過去の事例発表会がYouTubeで視聴できます！

令和2年11月以降、卸商業団地機能向上支援事業を活用した組合による「Web事例発表会」を開催しておりますが、過去の発表会は、商団連ホームページの「会員専用サイト」からYouTubeで視聴ができます。

なお、令和3年度においても、引き続き「Web事例発表会」を開催する予定です。

※商団連未加入の卸商業団地組合におかれましては、事務局までご連絡ください。YouTubeのURLをお知らせします。

	組合名	テーマ
1	大阪機械卸業団地協同組合	機械団地内98ブロック再整備計画策定事業
2	協同組合山形流通団地 協同組合福山卸センター	安心・安全で魅力あふれる団地造り 福山卸センターの価値を高める
3	協同組合呉食料品卸センター	組合員の総意に基づく団地再開発による遊休資産の再活用
4	大阪船場繊維卸商団地協同組合	箕面船場阪大前駅 駅前地区外のまちづくりについて

